

社会人と学生が共に学ぶアクティブ・ラーニング

■講師



大橋 真

(徳島大学大学院・ソシオアーツアンドサイエンス研究部環境共生学・教授)

京都大学大学院薬学研究科修士課程修了 医学博士

2007 年よりコミュニケーションを主体としたアクティブラーニング型授業の開発に携わる。2008 年「地域社会人を活用した教養教育」が文部科学省質の高い大学教育改革プログラムに採択される。同年よりモンゴルとの大学間協力により、国際共同アクティブラーニング型授業を開始する。その後中国、韓国、タイにも対象国を拡大する。モンゴル健康科学大学客員教授、モンゴルビジネス大学名誉博士

■プログラム概要

アクティブラーニング型の授業は、最近多くの大学で採り入れられており、高い学習効果が報告されています。その一方で、授業の進め方における課題も多く、様々な模索が続けられています。このプログラムでは、教養教育においても、アクティブラーニング型の授業を採り入れることにより、多彩な視点から物事を考える授業に発展させることが可能となることを体験的に学びます。このような形式の授業に、地域の社会人が参加することにより、教員や学生の視点とは違った、多彩な視点からの意見を聞いたのちに、これらのことを踏まえて、グループディスカッションに移行することで、幅広いディスカッションが可能となるというモデル授業を行います。さらに、このような授業を体験した後には、参加者同士で教養教育の意義を語り合います。

■主な受講対象

アクティブラーニングに興味がある全教員

■本プログラムの到達目標

1. 教養教育に地域社会人が加わることの意義が理解できる。
2. 教養教育におけるアクティブラーニングの導入の意義が理解できる。
3. 生涯教育と教養養育を融合することの意義が理解できる。

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成24年8月24日(金) 13:30~15:30

会 場 : 徳島大学 常三島キャンパス 共通教育6号館 2階 6-201教室

定 員 : 30名